

電波時計(デジタル目覚まし時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 D038-ZXXY

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 明るいところではソーラー電源、暗いところでは内蔵電池で駆動して電池を長寿命化
- 温度と湿度を同時表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y0809)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
分解禁止

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
注意

液晶表示板について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
注意

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
禁止

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。時刻、カレンダー、アラーム時刻は再度設定してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路・歯車等)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)
アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ092」をお伝えください。

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

電源について ソーラー発電と内蔵電池

この時計は、明るいところでは光発電で、暗いところでは内蔵電池で駆動します。光発電と内蔵電池を併用することにより、電池寿命を6年以上(注)と長寿命化を図っています。

(注)1日に200ルクスの明るさで約8時間発電する必要があります。

- 光発電による内蔵電池への充電は行ないません。
- ソーラーセルに直射日光を当てるとソーラーセルが劣化し、発電効率が低下します。
- 表示が薄くなったり、暗いところで停止するときは内蔵電池の交換が必要です。販売店または当社お客様相談室に電池の交換をご相談ください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

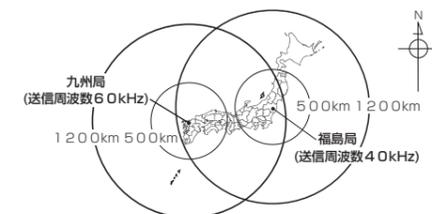
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

◎電波受信機能のON/OFF操作

- | | |
|---|---|
| 受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
○「ピ」と鳴ったらすぐに押してください。
○3回目は「ピ」と鳴りません。
○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。
◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。 | 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。
○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。 |
|---|---|

◎強制受信とリセット操作

- | | |
|---|---|
| 強制受信ボタン
場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。
◎手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。
●受信機能がOFFのときは、強制受信ボタンまたはリセットボタンを押しても受信を開始しません。 | リセットボタン
電源スイッチをONにした直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00 アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。受信機能がONのときは受信を開始します。 |
|---|---|

おもな製品仕様

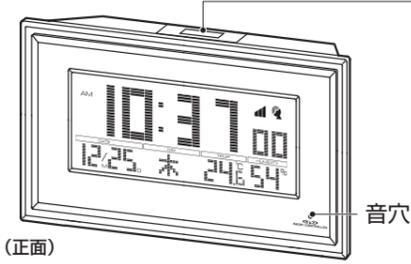
時間精度	●電波の受信に成功している場合(受信直後)表示精度 ±1秒 ●電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)	ソーラーセル	薄膜太陽電池
使用温度範囲	-10～+50℃ (注1)	標準電波	標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 最多1日3回 標準電波受信機能ON/OFF切り替え
使用電池	内蔵電池 リチウム電池 CR2477 1個 リチウム電池 CR2032 1個	表示	12時間/24時間制切り替え表示 時刻/日付表示位置切り替え表示
電池寿命	内蔵電池のみで約5年(アラーム10秒/日使用)光発電と内蔵電池と併用で6年以上 (注2)	カレンダー	2007～2099年 西暦、月日、曜日
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒	アラーム機能	アラームオートストップ
アラーム音	4段階電子音(鳴り方が変化)	温度表示	-9.9～+50℃ 温度精度±2℃
		湿度表示	20～95% 湿度精度±10%(温度5～50℃)

(注)1.液晶表示は0～40℃の温度範囲を超えると見えにくくなる場合があります。
(注)2.光発電を1日に200ルクスで8時間行なったとき、内蔵電池は、時計を組み立てるときに入れていますが、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

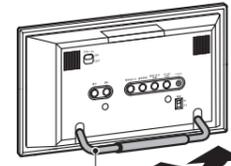
○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。
○ソーラーセルは室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。
○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

1. 電波を受信して時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

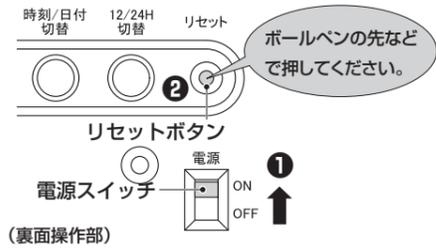


(正面)



(裏面) スタンド

スタンドにより、3段階で角度の調節が出来ます。
※無理に動かすと破損します。

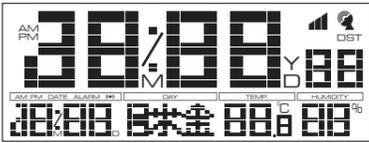


(裏面操作部)

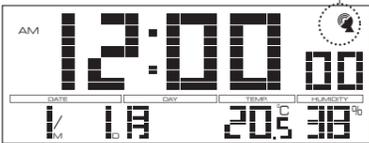
ボールペンの先などで押してください。

【受信の流れと表示】

(リセットボタンを押した直後)

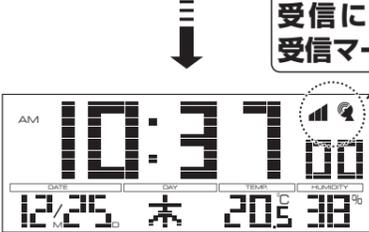


受信マーク (受信中点滅)
(受信開始)



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2007年1月1日、午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。

受信マークが点灯
(受信に成功したときの表示例)



受信マークは受信成功後、24~25時間点灯 (受信に成功したときの表示例)

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

Q&A

Q. なぜ電源スイッチがついているのか?

内蔵電池が消耗しないようにするためです。時計を使わないときは電源スイッチをOFFにしてください。

Q. 暗くなると表示が消えて止まる。

内蔵電池が消耗したためです。☞ **電源について** ソーラー発電と内蔵電池 参照

Q. 電源スイッチをOFFにしても表示が消えない。

回路内に電気が残っているためです。電源スイッチをOFFに切り替えたあと数分間は動作しています。

ソーラーセル

光が当たると発電します。影になつたり、表面が汚れると発電効率が悪くなります。

④ 寝室や窓のないところでは十分な明るさが得られない場合があります。

【参考】

照度 環境の目安
150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング内・オフィス
700ルクス 明るいオフィス

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、**電波を受信できない場合**の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

明るく電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

- 1 電源スイッチをON側にする
- 2 リセットボタンを押すと「ピ」と鳴り、受信マークが点滅し受信を開始します
- 3 受信結果を確認する
受信は最長で約20分を行います。受信マークで受信結果を確認してください。
☞ **【受信の流れと表示】** 参照
- ◎ 受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが点滅し受信を中止します。

受信マークの変化

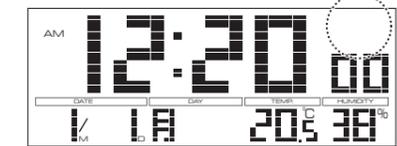
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)



チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

受信マーク消灯 失敗!



(受信に失敗したときの表示例)

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

海外でのご使用について

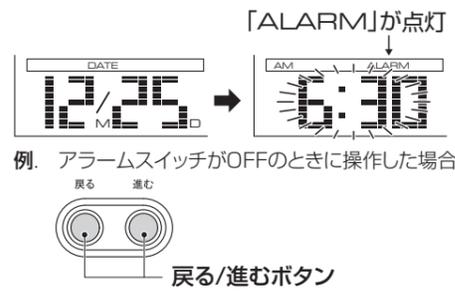
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

2. アラーム機能の使い方

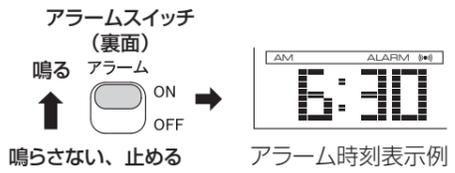
アラーム時刻の合わせ方



例. アラームスイッチがOFFのときに操作した場合



アラームのON/OFF設定



アラームスイッチ (裏面) 鳴る アラーム ON OFF

鳴らさない、止める アラーム時刻表示例

- 1 進むまたは戻るボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
- 2 時刻を合わせる
戻るまたは進むボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
AM(午前)/PM(午後)の表示に注意、表示されていない場合は、24時間制の表示です。
- 3 アラーム時刻設定を終わる
5秒間ボタン操作をしない。

アラーム音の確認方法

アラームスイッチをONにして、アラーム時刻を現在時刻より1~2分先に合わせてください。時間になるとアラームが鳴り出します。

アラームオートストップ機能.....アラーム自動鳴り止め機能

アラームは約2分間鳴りつづけた後、自動的に終了します。自動停止した場合、アラームスイッチはONのままですので翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。停止させるためにはアラームスイッチをOFFにします。

A 表示の切り替え



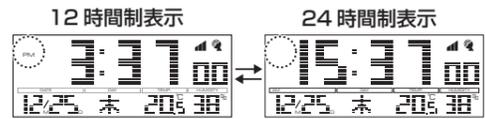
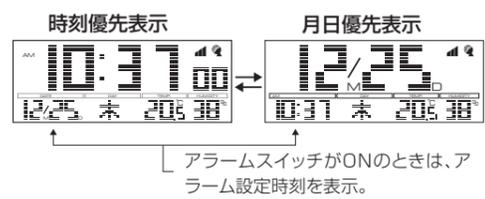
表示切替ボタン 時刻/日付優先表示切り替え

表示切替ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。

12時間制/24時間制表示切り替え

12/24H切替ボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。
AM(午前)/PM(午後)付き12時間制⇄24時間制

●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替え操作はできません。



B 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。



測定範囲を超えた場合の表示

温度: [HH.H] 50°Cより高温 [LLL] -9.9°Cより低温
湿度: [HH] 95%を超えた [LL] 20%未満
[-] 測定不可 (湿度は温度が5~50°Cのときに測定可能)

☞本製品は室内用ですので、室内の温度・湿度の計測以外の目的で使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご利用になれます。

■ 手動での時刻の合わせ方

- (1) 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- (2) 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。

☞ **電波受信機能のON/OFF操作** 参照
※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。



戻る/進むボタン 時刻合わせボタン

操作例. 2008年12月25日 午前10:37に合わせる

- 1 時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。西暦年が点滅します。
- 2 進むまたは戻るボタンで「年」を「2008」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 3 進むまたは戻るボタンで「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 4 進むまたは戻るボタンで「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 5 進むまたは戻るボタンで「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 6 進むまたは戻るボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して確定します。

- 時刻表示は12/24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。